



みやまえ



「宮前九条の会」第31回学習会

憲法九条を守ろう！ この一点で集まる宮前区市民の会



自民党「憲法改正草案」の前近代性

—「戦争」と「人権統制」の国造り—

講師：重田敬弘さん

(「宮前九条の会」呼びかけ人)

2013年4月21日

(日曜日)

宮前市民館 第4会議室

午後2時～4時半

資料代：300円

<講師から一言>

かつて、第一次安倍内閣は、「教育基本法」を改悪して公権力に教育を従属させる道を開き、防衛庁を防衛省に格上げしてその政治的立場を強化し、さらに、憲法改定のための「国民投票法」を成立させ、憲法改悪への第一歩を踏み出しました。そして突然、政権を投げ出したことは記憶に新しいところです。その安倍晋三氏が、衆議院選挙で大勝して再び政権の座に就きました。第二次安倍政権の最大の狙いは「憲法改悪」にあります。すでに衆議院の改憲勢力は2/3を超えており、もし、7月の参議院選挙でも改憲勢力が2/3を超えるようなことになれば、「憲法改悪」は一気に現実のものとなります。自民党が描く「改憲案」の持つ危うさを共に学び、考えたいと思います。

しげたかひろ

重田敬弘さんのプロフィール

1943年、千葉県生まれ。元都立高校社会科教諭。

「NPO 草の根平和交流」を中心に執筆・編集活動をしている。「宮前九条の会」「向ヶ丘九条の会」呼びかけ人
著書：「草の根の憲法教室」「旅で見つめた戦争と平和」

「満州再訪・再考」

共著：「日本からみた祖国ビルマ」「スーチーさんのいる国」「ふたたび南京へ」「ベトナムに春近く」(以上草の根出版社) 他

連絡先：044-855-8896 (若原)

宮前九条の会ホームページ <http://miyamae9.web.fc2.com/>
携帯サイト(PC可) <http://fhp.from.jp/miyamae9/>